

【2023年度】夏期・春期語学研修 報告

研修先名①	University of Otago
国	ニュージーランド
渡航期間	夏期：2023年8月15日（火）～9月18日（月） 春期：2024年2月13日（火）～3月17日（日）
単位認定	学部によっては認められる。
参加者数	20名（夏期：15名、春期：5名）
学習内容	
<p>事前にクラス分けテストを行い、レベル別のクラスに分かれ授業を行う。Elementary、Pre-intermediateのクラスは、週23時間のGeneral Englishを履修する。Intermediate以上のクラスは、週15時間のGeneral Englishおよび週8時間の選択授業（ニュージーランド文化またはIELTSテスト準備クラス）を選択することができる。General Englishでは、Reading、Listening、Speaking、Writing、Grammar and Vocabularyを中心に学習し、少人数でグループワークを主に行いながら、総合的なスキルを身につける。金曜日の午後および週末は、自由行動となり、小旅行など課外活動も充実している。</p>	
研修終了後	
<p>【必須】</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修報告書の作成 ※参加者が作成した研修報告書は国際交流センターにて閲覧することができる。 CASECの受験（20名中13名得点アップ） <p>【任意】</p> <ul style="list-style-type: none"> TOEFL ITP®テストの受験 	

研修先名②	University of Victoria
国	カナダ
渡航期間	2024年2月4日（日）～3月3日（日）
単位認定	学部によっては認められる。
参加者数	6名
学習内容	
<p>初日に実施されるクラス分けテストの結果によるレベル別クラスを受講する（週20時間、4週間）。授業はテーマに沿って行われ、カナダや、国際的な諸問題、社会や文化について学ぶ。また異文化理解やコミュニケーションが目的のワークショップ等も開催されている。授業時間外や週末に行うアクティビティ・プログラム（オプション）では、バスケットボール観戦・2泊3日のバンクーバー旅行等の課外活動を実施。</p>	
研修終了後	
<p>【必須】</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修報告書の作成 ※参加者が作成した研修報告書は国際交流センターにて閲覧することができる。 CASECの受験（6名中5名得点アップ） <p>【任意】</p> <ul style="list-style-type: none"> TOEFL ITP®テストの受験 	

【全学的な海外研修プログラム】

【2023年度】夏期文化研修 報告

研修先名②	東国大学校
国	韓国
渡航期間	2023年8月6日（日）～8月19日（土）
単位認定	なし
参加者数	9名
現地学習内容	
<p>渡航前に実施されるオンラインテストの結果に基づき、レベル別の韓国語授業を受講する。韓国語授業だけでなく、韓国文化や産業分野の専門家によるテーマ講義、様々な文化体験、在学生との交流プログラムなどが実施される。平日午前中に韓国語授業、午後にテーマ講義または文化体験が実施される。</p> <p>【授業内容の例】</p> <ul style="list-style-type: none">・ テーマ講義：韓流文化に映った女性キャラクターの変化・ 文化体験：NANTA観覧、キムチ作り体験、K-POPダンス	
帰国後	
<p>【必須】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 研修報告書の作成 <p>※参加者が作成した研修報告書は国際交流センターにて閲覧することができる。</p>	

【全学的な海外研修プログラム】

【2023年度】夏期・春期オンライン海外インターンシップ 報告

研修先名	インドネシアの環境問題
国	インドネシア
研修期間	夏期：2023年9月4日（月）～9月19日（火） 春期：2024年2月12日（月）～2月19日（月）
単位認定	無し
参加者数	5名（夏期：4名、春期：1名）
現地学習内容	
<p>本インターンシップでは、SDGs（特に環境保護）やインドネシアをテーマとして扱う。10種類の研修講座、現地企業やSDGsに取り組む日本人のビジネスパーソンの講演、現地学生とのグループワーク、現地企業への提案・発表等、普段の授業では体験できない実践的かつ充実したプログラムである。活動時間は約70時間（講座・講演：30時間、自主活動：40時間）となっている。</p>	
帰国後	
【必須】 ・研修報告書の作成 ※参加者が作成した研修報告書は国際交流センターにて閲覧することができる。	

【2023年度】春期海外インターンシップ 報告

研修先名	カンボジアサムライカレー×ビジネススタディ
国	カンボジア
渡航期間	2024年3月3日（日）～3月20日（水）
単位認定	無し
参加者数	9名
現地学習内容	
<p>プログラム前半はサムライカレープロジェクトとして、現地で食品を提供する屋台を運営する。現地でのヒヤリングを行い提供する商品・価格を決めるなど、マーケティングについて実践的に学ぶことができるプログラムである。</p> <p>サムライカレープロジェクト終了後は、ビジネススタディツアーとして現地で活躍されている日本人経営者の講演、現地法人の訪問などを行うプログラムである。</p>	
帰国後	
【必須】 ・研修報告書の作成 ※参加者が作成した研修報告書は国際交流センターにて閲覧することができる。	

【全学的な海外研修プログラム】

【2023年度】夏期海外個人研修（個人企画型） 報告

研修先名	博士課程論文のフィールドリサーチ 他
国	バングラデシュ
渡航期間	2023年8月10日（木）～9月20日（水）
単位認定	無し
参加者数	1名
現地学習内容	
バングラデシュの沿岸地域およびマングローブ林にて、博士課程論文テーマである「エビ養殖」のデータ収集と、漁業に従事する人々にインタビュー調査を実施した。	
帰国後	
【必須】 <ul style="list-style-type: none">・研修報告書の作成 ※参加者が作成した研修報告書は国際交流センターにて閲覧することができる。・研修報告会にて研修内容・成果の発表	

【全学的な海外研修プログラム】

【2023年度】春期海外個人研修（個人企画型） 報告

研修先名	卒業論文のアンケート調査・インタビュー調査
国	チェコ共和国
渡航期間	2024年2月21日(水)～3月14日(木)
単位認定	無し
参加者数	1名
現地学習内容	
ビール消費量が世界最多であるチェコにて、卒業論文テーマである「アルコール消費量」のアンケート調査およびインタビュー調査を実施した。調査対象は、チェコの大学生とした。	
帰国後	
【必須】 <ul style="list-style-type: none">・研修報告書の作成 ※参加者が作成した研修報告書は国際交流センターにて閲覧することができる。・研修報告会にて研修内容・成果の発表	

【全学的な海外研修プログラム】

【2023年度】夏期・春期国内留学 報告

研修先名①	北海道（ニセコ）
渡航期間	夏期：2023年8月20日（日）～9月2日（土） 春期：2024年3月3日（日）～3月17日（日）
単位認定	なし
参加者数	2名
現地学習内容	
<ul style="list-style-type: none">・英検初級者でも短期間で話せるようになる、専門家監修のプログラム。・レベル別グループレッスン（8人制・ネイティブスピーカー講師）・英語学習のモチベーション維持や、将来のキャリア構築に活かせるミーティング・各種アクティビティ（小樽観光、ボルダリングなど）	
帰国後	
【必須】 ・研修報告書の作成 ※参加者が作成した研修報告書は国際交流センターにて閲覧することができる。	

【全学的な海外留学プログラム】

【2023年度】語学留学 報告

研修先名①	University of Southern Maine
国	アメリカ
渡航期間	2023年8月22日（火）～12月23日（日）
単位認定	学部によっては認められる。
参加者数	1名
現地学習内容	
<p>リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング、文法、語彙の授業を受講。授業内では、グループワークやプレゼンテーション、現地学生へのインタビュー等を行いながら学習する。また、フィールドトリップやクラスアクティビティも充実しているほか、週末は自由行動となる。</p> <p>日本人の留学生が少ない（当該学生含め2名）ため英語を話す機会に恵まれ、現地の学生とのルームシェアによる寮生活から学ぶことも多い。</p>	
帰国後	
<p>【必須】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 留学報告書の作成 ※参加者が作成した留学報告書は国際交流センターにて閲覧することができる。・ 留学報告会にて留学内容・成果の発表・ 留学前と留学後にTOEFL ITP®テスト、CASECの受験。（渡航前と比較してTOEFL ITP®テスト得点アップ）	

研修先名②	University of Calgary
国	カナダ
渡航期間	2023年9月16日（土）～2024年3月24日（日）
単位認定	学部によっては認められる。
参加者数	2名
現地学習内容	
<p>本プログラムは、一般的なコミュニケーション技術を身につけることを目的とする。学生は、文法、リーディング&ライティング、スピーキング&リスニングの3クラスを受講する。事前にレベル分けテストを受験し、クラスはその結果に基づき編成される。基礎から上級までの6クラスで構成されるため、学生のレベルに合った環境で学習することができる。文法のクラスでは英文の構造について学び、文の組み立て方を再確認できる。リーディング&ライティングのクラスでは長文読解・英作文の作成をとおして、主にアカデミックな場面における文章の組み立て方について学ぶ。スピーキング&リスニングのクラスでは、自らの意見を他者に発信する機会が多く与えられる。各クラスともに、グループディスカッションやプレゼンテーションなどが実施されるため、受講者の主体的な取り組みが求められる。週末は自由行動だが、オプションでカルガリー大学主催のアクティビティ・プログラムにも参加ができる。近隣地域への小旅行をはじめ、プログラムの内容も充実しており、授業外でも学生同士の交流の機会が設けられている。</p>	
帰国後	
<p>【必須】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 留学報告書の作成 ※参加者が作成した留学報告書は国際交流センターにて閲覧することができる。・ 留学報告会にて留学内容・成果の発表・ 留学前と留学後にTOEFL ITP®テスト、CASECの受験（2名中1名はCASEC得点アップ）。	

【全学的な海外留学プログラム】

【2023年度】語学留学 報告

研修先名③	University College Cork
国	アイルランド
渡航期間	2023年9月2日（土）～2024年3月6日（水）
単位認定	学部によっては認められる。
参加者数	2名
現地学習内容	
入学前のテストによりクラス分けを行い、レベル別のクラスに分かれ授業を行う。受講する English for Work and Life (General English) コースは英語圏での生活や仕事に必要な英語力を身につけ、希望のキャリアを実現するためのコースで、平日9時から13時まで週20時間の授業の中でスピーキング、リスニング、リーディング、ライティング、文法や語彙を満遍なく学習する。コミュニケーション技能の向上のためのペアワークやグループワークの時間も多く設けられている。大学内には様々なコミュニティがあり、学生は自由に参加し現地学生との交流を深めることができる。	
帰国後	
【必須】 <ul style="list-style-type: none">・ 留学報告書の作成 ※参加者が作成した留学報告書は国際交流センターにて閲覧することができる。・ 留学報告会にて留学内容・成果の発表・ 留学前と留学後にTOEFL ITP®テスト、CASECの受験。（渡航前と比較してCASEC平均108点アップ）	

研修先名④	University of Victoria
国	カナダ
渡航期間	2024年3月3日（日）～7月9日（日）
単位認定	学部によっては認められる。
参加者数	1名
現地学習内容	
約4か月間の中に2つのコース（Monthly English, ELPI）を履修する。Monthly Englishでは、4・5人のグループワークを主に行い、基本的な日常会話やイディオムを学ぶ（80時間/4週）。また、ELPIでは、Reading, Listening, Speaking, Writingの4技能を中心に学習する。いずれのコースもクラス分けのテストを行い、レベル別で実施する。その他にも授業外時間や週末には、アイスホッケー観戦やバンクーバー旅行などの課外活動も実施される。	
帰国後	
【必須】 <ul style="list-style-type: none">・ 留学報告書の作成 ※参加者が作成した留学報告書は国際交流センターにて閲覧することができる。・ 留学報告会にて留学内容・成果の発表・ 留学前と留学後にTOEFL ITP®テスト、CASECの受験。	

【全学的な海外留学プログラム】

【2023年度】語学留学 報告

研修先名⑤	翰林大学校
国	韓国
渡航期間	①2024年2月27日（火）～6月26日（水） ②2024年2月27日（火）～6月23日（日）
単位認定	学部によっては認められる。
参加者数	2名
現地学習内容	
<p>Beginner～Advancedレベルのクラスがあり、各々のクラスで韓国語や韓国文化を学ぶ。基本的に韓国語で授業を行い、15以上のクラスから、4～6クラスを自由に選択できる。各クラスともディスカッションやプレゼンテーションなど、主体的な取り組みが求められる。1クラスは50分または75分の授業となる。</p> <p>大学内にはバディプログラムやクラブ活動など、様々なコミュニティがあり、学生は自由に参加し現地学生との交流を深めることができる。</p> <p>週末は自由行動となり、他の留学生とのルームシェアによる寮生活から学ぶことも多い。</p>	
帰国後	
<p>【必須】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 留学報告書の作成 ※参加者が作成した留学報告書は国際交流センターにて閲覧することができる。・ 留学報告会にて留学内容・成果の発表・ 留学前と留学後に韓国語能力試験の受験	